

博物館だより 2015年 春号 *The Museum Letter*

葛飾区郷土と天文の博物館 | Katsushika City Museum



Contents

“博物館まつり”をはじめとした様々な活動、
実はみーんなボランティアのみなさんが
行っているんです！

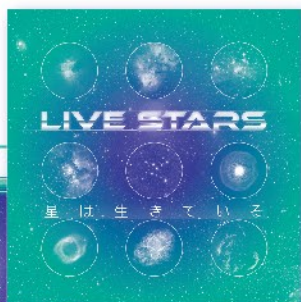
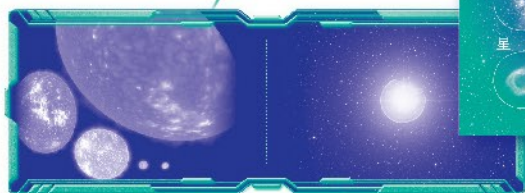


プラネタリウムの新番組

ライブ・スターズ

LIVE STARS ～星は生きている～

夜空の彼方で繰り広げられる、
星たちの一生のドラマ。
デジタルプラネタリウムの迫力ある
映像・音楽と生解説でお送りします。



No.

1 1 1

ライヴ・スターズ
LIVE STARS

～星は生きている～

永遠に輝き続けるように見える宇宙の星
さまざまなドラマを繰り広げています。さあ、あ

々も、気の遠くなるような長い時間の中で、
あなたも星たちの素顔をめぐる旅に出かけましょう。

01 生まれ来る星たち

輝くガスの中のあちこちにできた、ガスやチリの塊。
その中で、新しい星が生まれようとしています。
オリオン大星雲の三次元モデルや、日米欧の協力で
南米に建設された電波望遠鏡『アルマ』による最新
の観測成果を交えながら紹介します。

02 輝きだした星たち

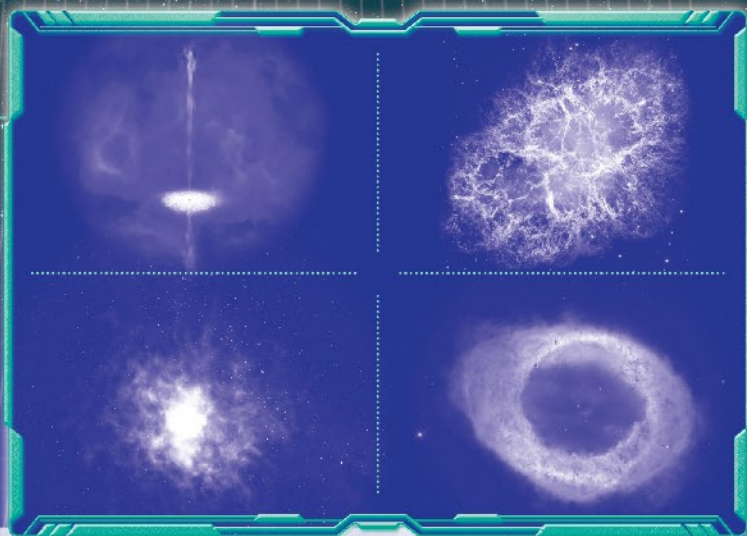
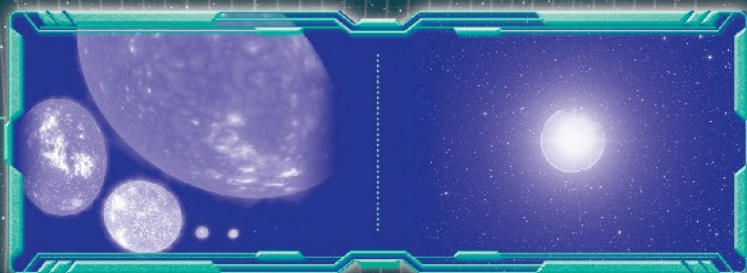
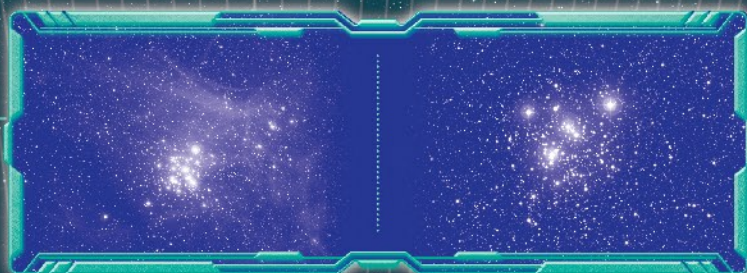
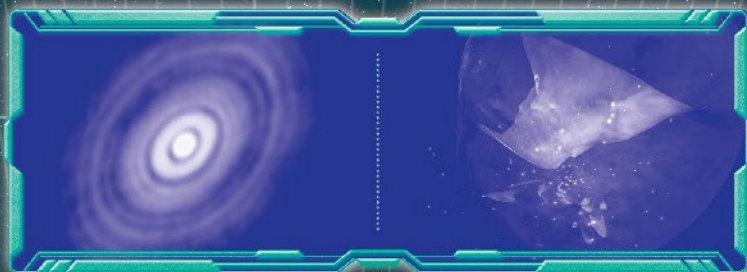
星雲の中から輝き出した若い星たちの群れ。
おうし座のプレアデス星団(すばる)まで飛行する
迫力あるCGや、ヨーロッパ南天天文台が撮影した
美しい星団の映像が、あなたを包み込みます。

03 年老いた星たち

星は一生の最後の段階になると、赤く大きく膨らみ
ます。オリオン座のベテルギウスもそんな星の一つ。
巨大なベテルギウスの素顔を、さまざまな角度から
ドームいっぱいにご紹介します。

04 消えゆく星たち

静かに最期を迎える星、激しく爆発する星…。
宇宙のあちこちに残る星の最期の姿を、ハッブル
宇宙望遠鏡、チャンドラ宇宙望遠鏡などの映像や、
ダイナミックなCGで描きます。

**映像も『ライブ』!**

この番組はもちろん、
です。あらかじめ作ら
プラネタリウムがリア
合わせて、その場で
全国でも数少ない

当館のプラネタリウム番組の特徴は、映像が『ライブ』だということ
れた映像作品を再生するのではなく、計算に基づきながらデジタル
ルタイムに瞬間に描く宇宙空間や、さまざまな映像素材を組み
映像を作りだしています。
『ライブ』なデジタルプラネタリウムをお楽しみください。

解説も『ライブ』!

もう一つ、当館プラネ
当日の星空解説は
星空や、その時々
ごとに内容や雰囲気
同じ番組でも、何度

タリウムでは、解説も全て『ライブ』です。
もちろん、番組の全ての部分を生で解説。だから、日々変わりゆく
お客様に応じて解説も変わっていきます。さらに、5人の解説者
が変わってきますので、その違いを楽しむこともできます。
も楽しみながら、さまざまな違いを発見することができますよ。

4月19日(日)までの上映時間

平日(火～金曜日) 16:00～

土曜日・日曜日・祝日と
3月26・27・31日、4月1・2・3日 13:00～、14:30～ただし博物館の休館日はプラネタリウムも
休演となりますのでご注意ください。**休館日** 月曜日、第2・4火曜日
(月曜祝日は開館。火曜祝日は開館し翌日休館)

詳しくはホームページをご覧ください。

ご存知ですか？博物館まつりをはじめとしたこれらの活動、実はみーんなボランティアのみなさんが行っているんです！

考古学ボランティア「葛飾考古学クラブ」「葛飾探検団」

発掘調査・遺物整理

遺跡の発掘調査、出土遺物の整理作業などを通じて郷土の歴史を学びます。展示や『葛飾考古学クラブだより』で活動成果を公表します。

古代体験や発掘教室の指導

小学校で古代の暮らしから現代の環境問題や食について考える出前授業や、発掘体験などの博物館事業を支援しています。

街の調査・記録

区内やその周辺の建物・産業・川・道・寺社などを訪ね歩き、葛飾の暮らしや文化を調査・記録しています。展示や活動報告書で活動成果を公表したり、ガイドツアーを行っています。

農業体験ボランティア「田んぼサポーター」

田んぼジュニアのイベントサポートなど

葛飾区の伝統的な産業であった農業について学び、米作りや畑作など子供達が参加する教室での指導を行っています。

竹林の整備

定期的に整備し竹林の保護に取り組んでいます。切り出した竹は、竹細工教室で楽しくリサイクル。

天文ボランティア

かつしか星空散歩

毎週金曜日、土曜日の午後7時30分～8時30分に開催する、申し込みなしで気軽に参加できる星の観察会。その日見えている天体たちをご案内。
※祝日・雨天・曇天の場合はお休みします。

天体ショーの観察会

日食や月食など注目の天体現象を博物館で観察します。感動を分かち合えるのが喜びです。

かつしか宙トーク

土曜日※の夕方に、「もっと」宇宙と星空が楽しくなる星と天文のトークをお届けします。
※平成26年度は第4土曜日に開催していますが、平成27年度の開催日は現在未定です。詳しくは後日ホームページでご確認ください。

星空キャラバン

不定期で土曜日の夕方に、博物館前の広場に望遠鏡が登場！望遠鏡で星の観察ができます。見かけたらお気軽にお立ち寄りください。

移動観望会

地元の夏祭りや移動観望会を開催することもあります。

博物館まつり

こどもの日(5月5日)と文化の日(11月3日)に開催する博物館まつりでは、ボランティアのみなさんによるイベント*が目白押し。しかも博物館の無料開放日！子供も大人も、入館料とプラネタリウム観覧料が無料で楽しめます。
※開催するイベントはその時々によって多少異なります。

ギャラリートーク
天文展示を通して、宇宙の不思議を、楽しく！やさしく！解説します。

かつしか青空散歩
大きな望遠鏡で、昼間の星を観測します。
※雨天・曇天の場合は望遠鏡の見学を行います。

12星座おりがみコーナー
おりがみで12星座の中から好きなモチーフを作ります。

おりがみフレーム作り
おりがみでフレームを作り、シールやテープでデコレーション。

お面作り
郷土の歴史人物キャラ「清重くん」「義氏くん」のお面を作ります。

埴輪にさわってみよう
柴又八幡神社古墳から出土した埴輪について解説します。

かつしか古代体験
出土した埴輪や土器に触れたり、火おこしをしたり、古代の暮らしを体験します。

クイズで考古学
葛飾の遺跡などに関するオリエンテーリング形式のクイズ。展示室で回答を探します。

竹細工教室
竹を切り出して、コップやおもちゃを作ります。

ワラ縄作り体験／亀縄作り
博物館前の田んぼのイネのワラを使って縄を作ります。

ストローロケット工作
ストローをロケットに見立てた「ストローロケット」を作って飛ばします。

かつしか星空図書館
星・月などが出てくる絵本をよみかかせます。

紙ヒコーキコーナー
姿勢が安定するジャイロ効果のある紙ヒコーキを作って飛ばします。

光る星座ミニポスター作り
光る星の紙をはって、星の明るさがわかるミニポスターを作ります。

当館で一緒にボランティア活動を楽しみませんか？ 気になったら下記もチェック！

考古学ボランティア「葛飾考古学クラブ」(会員募集中)

発掘調査や地域史研究、収蔵資料の整理や展示に参加しながら郷土の歴史を学んでみませんか。
対象 どなたでも。ただし4・5月に実施する10回の講習会のうち、4回以上参加すること。
会場 当館、館外
申込方法 電子申請、往復はがき キーワード「考古学ボランティア」
申込締切 平成27年3月27日(金)必着 ※応募された方には資料を送付します。
説明会 詳細は「葛飾区遺跡報告会」の中でもご説明します。入会を検討されている方は、是非ご参加ください。

「葛飾探検団」

会員募集中

葛飾とその周辺の建物や産業、川や道、寺社などを訪ね、葛飾の風景や暮らし、文化の変化と一緒に調査しませんか。
対象 どなたでも。
費用 無料(移動時の交通費等は実費負担)
会場 当館、館外
申込方法 電子申請、往復はがき キーワード「葛飾探検団」
申込締切 平成27年3月27日(金)必着 ※応募された方には資料を送付します。
説明会 詳細は「葛飾探検団活動報告会」の中でもご説明します。入会を検討されている方は、是非ご参加ください。
<日時>平成27年3月15日(日)午後1時～ <場所>当館講堂

農業体験ボランティア「田んぼサポーター」(会員募集中)

農業体験イベントや、味噌作り、竹林の整備、竹細工教室のサポートをします。また、祭など村の行事に参加したり、古民家に宿泊しゆったりとした農村生活を満喫します。
茨城県つくばみらい市の農家の方々を中心とするNPO法人「古瀬の自然と文化を守る会」より、直接農作物栽培の指導を受けることができます。

内容 稲作・畑作などの農作業。ピオトープの整備。竹林の間伐。小・中学生の体験学習の指導など。
日時 平成27年4月から土日を中心に月2回程度。すべてに参加できなくてもかまいません。
対象 中学生以上の方。知識や経験は問いません。
費用 年会費3,000円
会場 当館、つくばみらい市寺畑、戸戸地区の農家、農地。
持ち物 農作業が出来る服装、長靴など
申込方法 往復はがき キーワード「田んぼサポーター」
申込締切 年間を通じていつでも募集を受け付けています。

天文ボランティア

「かつしか星空散歩」などの観望会、「かつしか宙トーク」などのイベントを博物館とともに運営しています。「天文の知識はないんだけど…」という方でも大丈夫。星への好奇心と、活動への意欲さえあれば十分です。
平成27年度活動のボランティア募集は終了しました。毎年12月頃に募集しています。詳細は博物館のホームページをご覧ください。

「葛飾考古学クラブ」「葛飾探検団」「田んぼサポーター」のお申し込み方法

◆往復ハガキでのお申し込み

参加される方全員の住所・氏名・年齢(学年)・電話番号と、それぞれのキーワードを書いて、申込み締切日<必着>、までにご送付ください。
宛先 〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1 葛飾区郷土と天文の博物館

◆電子申請(インターネット)でのお申し込み

当館のWebサイトからお申し込みいただけます。
当館Webサイト <http://www.museum.city.katsushika.lg.jp/>
※電子申請はイベントが区の広報誌に掲載されてから利用開始となる為、Webサイトに情報が未掲載の場合がございます。往復ハガキをご利用いただくか後日あらためてご利用ください。

丸一日、博物館のイベントとプラネタリウムが“無料”で楽しめる『博物館まつり』
次のチャンスは、5月5日こどもの日。
どうぞお見逃しなく！
詳しい内容は4月下旬頃にホームページをご覧ください。



英語版のプラネタリウム投映を行いました。

昨年12月、都内の外国人学校（中学校相当）の生徒さんが来館し、『シンフォニー・オブ・ユニバース第1番〜ガリレオから最新の宇宙まで』の英語版をご覧いただきました。

当館制作の番組を他館でご覧になって気に入ってくださったこの学校の方からご依頼があり、字幕と生解説シナリオを英訳、演出プログラムを制作しました。

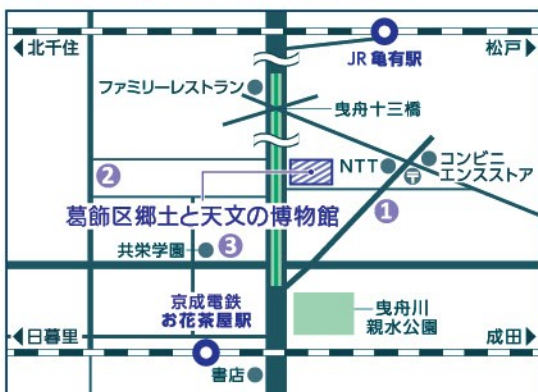
投映では、各楽章の始まりと終わりのたびに大きな拍手が巻き起こり、終了後も活発な質問が出るなど、葛飾区のプラネタリウムの魅力をお楽しみいただくことができました。

当館では11月にも、聴覚に障害がある方のために日本語字幕付きの番組を制作・投映しました。これからも、より多くの方にお楽しみいただける番組を作っていきたいと考えています。

葛飾区郷土と天文の博物館ご利用案内

- 開館時間** 午前9時～午後5時
(金・土曜日は午後9時まで開館。ただし金・土曜日が祝日の場合、午後5時に閉館。入館は閉館の30分前まで)
- 休館日** 月曜日、第2・4火曜日、年末年始
(月曜祝日は開館。火曜祝日は開館し翌日休館)
- 入館料** 大人 100円 小・中学生 50円 幼児無料
(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)
- プラネタリウム観覧料** 大人 350円 小・中学生 100円
幼児(座席を使う場合) 50円
(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)
- 年間パスポート** 大人 2,000円 中学生以下 700円
購入から1年間、入館とプラネタリウムが見放題になる大変お得なパスポートです。購入時にご希望があれば、当館からのおたよりを1年間お送りします。

アクセス



電車 京成線「お花茶屋」駅から徒歩8分

- バス**
- ① 「レインボーかつしか」(有71・有72系統)または京成タウンバス(有70系統)で「白鳥わかば公園」バス停下車徒歩3分
 - ② 京成タウンバス(有57系統)で「上千葉小学校」バス停下車徒歩5分
 - ③ 京成タウンバス(有57系統)で「共栄学園」バス停下車徒歩5分

博物館だより

発行 葛飾区郷土と天文の博物館
〒125-0063
東京都葛飾区白鳥3-25-1
電話：03-3838-1101
FAX：03-5680-0849
Web：http://www.museum.city.katsushika.lg.jp/